

全国保健所長会 だより

はじめに

第81回全国保健所長会総会は、令和6年10月28日(月)に札幌市の北海道立道民活動センターかでの2・7において、223名が参集して開催されました。当日は少しだけ雨が降りましたが、例年より暖かく紅葉が美しい中で開催となりました。

総会の概要

中根貴弥総務担当副常務理事(山梨県富士・東部保健所長)の総司会の下、プログラムに沿って進められました。

藤田利枝会長(久留米市保健所長)のあいさつでは、日頃の保健所業務や本会活動への協力に感謝していること、より多くの多彩な

全国保健所長会総会報告

全国保健所長会副会長／静岡県西部保健所長 木村雅芳

人材に参加してもらおう方針であること、能登半島地震をはじめとするDHEAT活動へのねぎらいと、いつその発展を願うこと、総会が交流と共に学ぶ場であることなどのお話がありました。

第70回全国保健所長会表彰では、全国から52名の功労者が表彰され、会長から長年の公衆衛生行政への貢献に感謝と敬意の表明がありました。

来賓の厚生労働省健康・生活衛生局長(松岡輝昌健康課長)、北海道知事(濱坂真一北海道副知事)、松家治道北海道医師会会長から、日頃の保健所業務へのねぎらいや、本会への期待の言葉を頂きました。

総会議事の議長は、山本長史副会長(北海道江別保健所長兼千歳

保健所長)が務めました。報告事項では、表の方々が所掌事務や事業について報告しました。

議案は、令和5年度事業・決算報告、令和6年度補正予算、令和7年度事業計画・予算が原案通り可決されました。来年度も今年度と同様の活動を継続し、7年10月28日(火)に静岡市で総会が開催さ

れることとなりました。

新規名誉会員には、内田勝彦先生(大分県)、岩間真人先生(静岡県)が推戴されました。

総会の結びに当たり、木曾啓介石川県保健所長会会長(石川中央保健所長)から能登半島地震における本会会員の支援について、改めてお礼の言葉を頂きました。

講演

松岡輝昌厚生労働省健康・生活衛生局長健康課長から、「わが国の保健行政の動向について」と題し、健康日本21(第三次)の新たな視点や目標、スマート・ライフ・プロジェクトについてご講演いただきました。また、DHEAT先遣隊等、今後の災害派遣体制についてもお話しいただきました。

研究事業報告

研究事業報告では、松谷有希雄顧問(日本公衆衛生協会理事)のあいさつの後、学術担当の劔陽子理事と矢沢和人理事(群馬県太田保健所長兼藤岡保健所長)を座長として進行了しました。

表 報告した方々

- 桑島昭文総務担当副常務理事(さいたま市保健所長) ●堀切将渉外担当副常務理事(福島県中保健所長) ●劔陽子学術担当副常務理事(熊本県阿蘇保健所長) ●柴田敏之研修担当副常務理事(大阪府泉佐野保健所長) ●柳樂真佐実広報担当副常務理事(島根県雲南保健所長) ●福永一郎地域保健の充実強化委員会委員長(高知県須崎保健所長) ●入江ふじこ健康危機管理に関する委員会委員長(茨城県土浦保健所長) ●横山勝教公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会委員長(香川県中讃保健所長)

会員協議

「DHEATの役割と今後の展望」(能登半島地震におけるDHEAT活動を振り返り 今後の展望を協議する)のテーマで、入

江ふじこ健康危機管理に関する委員会委員長と山本長史副会長を座長として進行了しました。

初めて本格的に全国のDHEATが組織的に活動した今回の対応について、各現場から臨場感あふれる報告と課題や提言を頂き、フロアを含んで活発な意見交換が行われました。

講演1は「DHEATによる市町支援に関する課題と今後の展望」と題し、服部希世子氏(熊本県有明保健所兼山鹿保健所長)が熊本県DHEATの活動報告を行いました。特に第1班の活動を中心に、輪島市保健医療調整本部の立ち上げから各種調整業務を振り返り、広域支援体制の強化、人材育成、コミュニケーションツールや情報共有システムの必要性、全国的なネットワーク強化を提言されました。

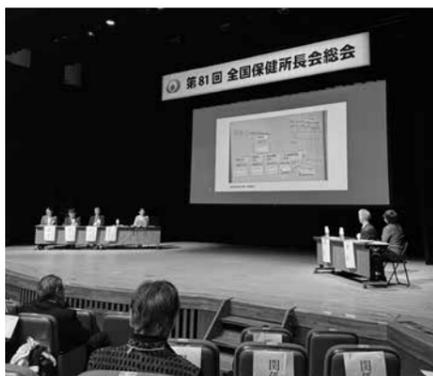
講演2は「DHEATによる本庁支援に関する課題と今後の展望」と題し、石井安彦氏(北海道釧路保健所長)が、石川県庁の保健医療調整本部で活動した北海道DHEATの報告をしました。主に保健医療福祉調整本部の運営支援、情報収集と整理、活動方針決定・体制移行の支援を行い、長期にわたる活動から、DHEATのスキル向上、ニーズに応じた柔軟な対応、さまざまな保健医療チーム等との連携の必要性を強調されました。

講演3は「被災保健所におけるDHEAT受援に関する課題と今後の展望」と題し、後藤善則氏(石川県能登北部保健所長)が被災地で受援された立場で報告されました。9月21日の豪雨災害で再び大きな被害に遭われたことなど、現地の今を伝えていただきました。DHEAT活動を振り返って、被災地の規模や災害のフェーズにより柔軟な形のチーム構成、福祉の調整機能、長期的な派遣体制、ローテーションによる派遣、災害種別の活動ハンドブックの作成等を提言されました。

講演4は「広域災害対応におけるDHEAT事務局の役割」と題し、高岡誠子氏(日本公衆衛生協会DHEAT事務局)が、発災からDHEAT派遣調整の実際や、現地での活動、関係者への情報発信など多岐にわたる活動と課題を報告されました。今後、厚生労働省やDHEAT協議会等と検討すべき課題について提示していただきました。

フロアからも現地活動や提言について活発な発言があり、実り多い会となりました。一日の結びは、白井千香副会長(枚方市保健所長)が総括して閉会となりました。

この後、全国衛生部長会、地方衛生研究所全国協議会と合同の意見交換会が開催されました。各総会の成果を持ち寄って、楽しく有意義な会となりました。この会を準備してくださった北海道保健所長会の皆さまに改めて感謝いたします(講演や研究事業報告、会員協議の資料は、全国保健所長会のホームページに公開しています。ご興味のある方は、ぜひご覧ください)。



会員協議の様子